第3節

障害児の子育て

1. 就学前の活動の場

在宅の就学前の身体障害児の活動の場としては、幼稚園や保育所のような地域にある身近な施設のほか、通園施設、障害児通

園事業といった障害児のための施設等も2割程度あり、自宅にいる者は4割程度となっている。

在宅の就学前の知的障害児の活動の場としては、身体障害児に比べて幼稚園や保育所の割合が低い一方で、通園施設や養護学校幼稚部といった障害児のための施設の割合は3割程度と高く、自宅にいる者は4割程度となっている。

図表1-20 在宅の身体障害児（未就学）の活動の場（複数回答）

単位：％

幼稚園	保育所	通園施設	障害児通園事業	自宅	その他
28.5	17.6	15.0	6.2	39.9	2.6

資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」（平成13年）

図表1-21 在宅の知的障害児（未就学）の活動の場

単位：％

幼稚園	保育所	通園施設	養護学校幼稚部	自宅	その他
7.3	15.8	26.7	3.2	38.5	8.5

資料：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」（平成12年）

発達障害のある子どもの子育て

平成16年12月に内閣府が実施した「障害のある当事者からのメッセージ」（P32参照）の募集の際には、自閉症等の発達障害のある子どもの親御さんからも、多くの意見が寄せられました。なかでも、「外見からは分かりにくいいため、『態度が悪い』『親の躰

が悪い』などと批判されやすい」といった意見は、8割以上の方が賛同しており、安心して子育てをしていく上で、周囲の人に障害について正しく理解してもらう環境づくりが課題となっています。